

令和8年8月20日

分任契約担当
陸上自衛隊北海道補給処
安平弾薬支処会計科長 谷 秀治

北海道補給処安平弾薬支処におけるオープンカウンター方式による見積依頼について

- 1 本リストは、オープンカウンター方式実施要領に基づく手続きが必要です。
- 2 本方式は、随意契約を前提とした見積依頼であり、有効な見積書をもって申込みをした者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格の見積書をもって申込みをした者を契約の相手方とします。
- 3 件名リスト

一連 番号	件 名	納入（履行） 場 所	納 期 （履行期限）	見積依頼書 公 表 日	見積書 提出期限	見積り合わせ の日時	防衛省競争参加資格	備 考
2	防災設備用自家発電装置保守 点検役務	早来分屯地	9.3.31	8.8.20	8.9.1 1200	8.9.1 1200	防衛省競争参加資格 （全省庁統一資格） は問わない。	
3	浄化槽清掃役務	早来分屯地	8.10.30	8.8.20	8.9.1 1200	8.9.1 1200	防衛省競争参加資格 （全省庁統一資格） は問わない。	
4	#55非常用電源設備保守点検役務	安平駐屯地	8.10.30	8.8.20	8.9.1 1200	8.9.1 1200	防衛省競争参加資格 （全省庁統一資格） は問わない。	

- 4 仕様書の交付場所、契約条項等を示す場所、問い合わせ先及び提出先
〒059-1511
北海道勇払郡安平町安平
陸上自衛隊安平駐屯地 北海道補給処安平弾薬支処会計科 （担当 中村）
TEL 0145-23-2231（内線292）
FAX 0145-23-2233

品 目 等 内 訳 書

契約実施計画番号		6ME910C00020									
NO	調達要求番号		物品番号		単 位	数 量	単 価	金 額	銘 柄	納 地	指定
	品 名					仕 様 書 番 号			使用期限等	引 渡 場 所	
	部品番号 または 規格									搬 入 場 所	検 査
	使用器材名									納 期	包 装
1	6MG71AM8517	0001			ST	1.00				早来分屯地	
	防災設備用自家発電装置保守点検役務								営繕班（早来）		
	仕様書のとおり								営繕班（早来）山田事務官・261		
						4			令和9年3月31日		
				- 以 下 余 白 -							

仕 様 書

- 1 役 務 名：防災設備用自家発電装置保守点検役務
- 2 役務場所：北海道勇払郡安平町東早来番外地 陸上自衛隊早来分屯地
- 3 役務概要：防災設備用自家発電装置（一年点検）
- 4 一般事項
- (1) 本役務は本仕様書によるほか、関係法令・条例等を厳守すること。
- (2) 現場代理人を常駐させ、労務者の監督及び役務の調整を密にし、疑義が生じた時は速やかに監督官と協議すること。但し、契約金額及び工期の変更は行わないものとする。
- (3) 役務の管理は遺漏なく行い、火災等の事故防止には万全を期すること。
- (4) 本役務に先立ち、工程表と共に関係書類を監督官に提出し承認を得ること。
- (5) 役務写真は役務工程（作業前、作業中、作業後）及び隠蔽箇所、その他監督官の指示により撮影し、役務写真帳（A4縦）に整理し提出すること。
- (6) 役務現場及びその周辺は常に整理整頓し、注意が必要となる場合は「注記表示」及びバリケード等により養生をすること。
- (7) 役務場所及び許可された場所以外への無断立入り及び撮影は厳禁とする。
- (8) 本役務に使用する材料について、仮設用材料及び再使用を指定された材料以外はすべて新品を使用し、必要に応じ出荷証明書を添付すること。
- (9) 本役務に使用する、電気、水、機械工具について特記がある場合を除き、全て契約業者にて準備するものとする。
- (10) 本役務完了後1ヶ年において、実施上の不備による損傷等は、契約業者の負担として無償にて修復すること。
- (11) 本役務の完了については、役務完了届けの提出を持って役務完了とする。

5 特記事項

- (1) 点検内容・項目
- 下記に示す項目について、外観・機能・総合点検を実施すること。
- ア エンジン
- イ バッテリー
- ウ 発電機
- エ 制御盤
- オ 運転
- (2) 本役務に際し、下記に示す資格を有し実務経験のあるもの
- ア 消防設備点検資格者
- イ 自家用発電設備専門技術者

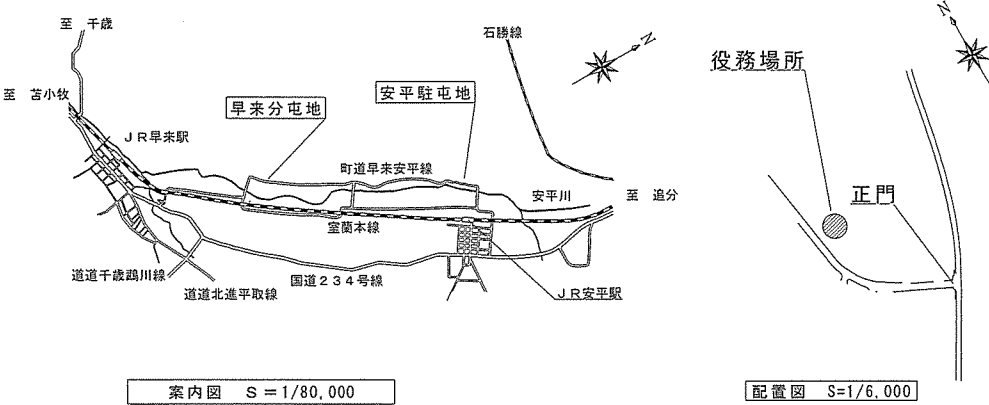
- (3) 消防用設備等の報告の様式
- 消防法第17条3の3（消防用設備等の点検及び報告）に基づき点検し、報告の様式については消防用設備等試験結果報告書の様式のうち「別記様式第24、25」にて報告すること。
- (4) その他メーカーの推奨する保守項目に準じ適正に実施すること。
- 6 点検対象物（商品型式：AP35C-5R、機体No.：6LJ-0105）
- ヤンマーディーゼルエンジン

形 式	3TNE84T-GH2	回転速度	3, 0 0 0min ⁻¹
名 称	立形水冷4サイクル直接噴射式	加給方式	加給機付き
シリンダー数	3	始動電動機	DC12V 1.7KW
内径×工程	84×90	冷却水量	2.7L
総排気量	1.496L	潤滑油量	7.2L
出 力	29.1KW	使用燃料	軽油

7 交換部品

名 称	数 量	名 称	数 量
潤滑油フィルタ	1個	ブロック（ヒータ	1個
燃料油フィルタ	1個	機関潤滑油（ヤンマー純正オイル）	7L
油水分離機フィルタ	1個	冷却水クーラント（ヤンマーロイヤルフリス）	3L
パッキンセット	1式	バッテリー12V仕様	1式
パッキン（コマル8X1.0	10個		

8 案内図・配置図



件 名	防災設備用自家発電装置保守点検役務						1 / 1
図 面 名	仕 様 書						縮 尺
支処長	総務科長	営繕班長	営繕主任	電気主任技術者	消防設備点検資格者	設 計	
陸上自衛隊早来燃料支処 総務科				営繕班		令和 8 年 8 月 3 日	

品 目 等 内 訳 書

契約実施計画番号		6ME910C00030																					
NO	調達要求番号		物品番号				単	位	数	量	単	価	金	額	銘	柄	納		地	指定			
															使用期限等	引		渡	場		所	検	査
	品														名	搬		入	場	所	包		
	部品番号														または	規格	仕		様	書		番	号
使用器材名												仕		様	書	番	号	グループ		納		期	包装
1	6MG71AM8521	0001					ST		1.00								早来分屯地						
	浄化槽清掃役務																営繕班（早来）						
	仕様書のとおり																営繕班（早来）山田事務官・261						
															8		令和8年10月30日						
					- 以		下	余	白	-													

仕様書

- 1 役務件名： 浄化槽清掃役務
- 2 役務場所： 勇払郡安平町東早来番外地 陸上自衛隊早来分屯地構内
- 3 役務概要： (1) 嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式99人槽用浄化槽清掃 1基
(フジクリンプラント PCNII-99C型)
(2) 水質検査 1式
- 4 一般事項
 - (1) 本仕様書は、早来分屯地構内における「浄化槽清掃役務」について適用する。
 - (2) 請負者は、本役務仕様書に規定するほか、関係法令、規則及び条例を遵守するものとする。
 - (3) 本仕様書の内容に相違又は明記のないとき、あるいは疑いを生じたときには、すべて監督官と協議し、関係法令及び部隊側の定めた規則に基づき行うものとする。
但し、契約金額及び工期の変更については行わないものとする。
 - (4) 本役務に先立ち、請負者は役務工程表と共に関係書類を監督官に提出し、承認を得るものとする。
 - (5) 役務写真は、役務工程（着手前、役務中、完了時）及び隠蔽となる箇所、その他監督官の指示により撮影し、役務写真帳（A-4 縦）に整理して提出する。
 - (6) 本役務上の欠陥による不具合及び作業中の事故等は、全て請負者の負担とする。
 - (7) 本役務に使用する消耗品等は、すべて請負者の負担とする。
 - (8) 本役務中及び終了後は、現場の清掃及び後片付けを行うものとする。
 - (9) 本役務実施の際、実施場所及び許可された場所以外への無断立入を禁止するとともに、部隊側の規則等に従うものとする。
- 5 検 査
 - (1) 請負者は清掃終了後、清掃作業報告書を提出し、検査官立会いのもと清掃終了検査を受け、放流水水質試験成績表をもって、機能回復を立証するものとする。
 - (2) 本役務の完了は、放流水水質試験成績表の提出をもって役務完了とする。
- 6 注意事項
 - (1) 清掃中は、メタンガスの残留に考慮し、安全を確認するまで火気の使用を禁ずるものとする。
 - (2) 清掃中、浄化槽の設置又は機能に不良箇所を発見した場合は、直ちに監督官に報告し点検を受け、その処置について指示を受けるものとする。
 - (3) 作業中は、安全管理に十分注意し、危害予防に万全を期するものとする。
- 7 保 証
 - (1) 本役務完了後、1年間における役務の不備等による損傷は、請負者の負担として無償にて修復しなければならない。
 - (2) 本役務において既存の施設等に損傷を与えた場合は、速やかに監督官へ報告するとともに請負者の負担により、原形に復するものとする。

8 実施要領

(1) 汲み取り清掃

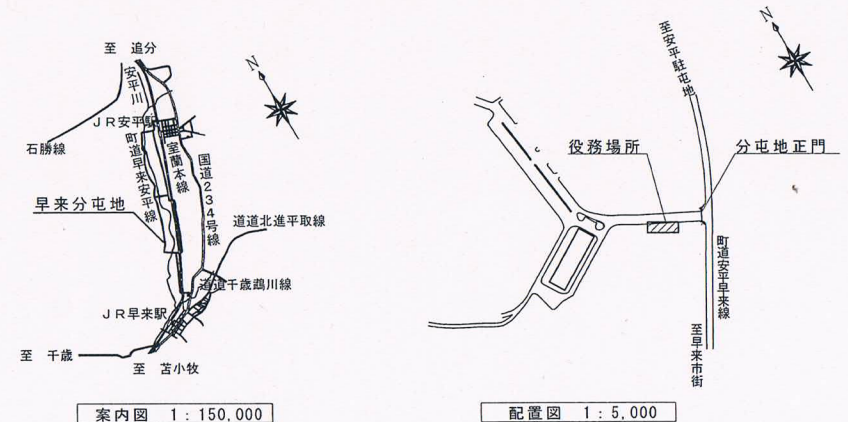
- ア 嫌気ろ床槽第1室及び第2室のスカムの引き出しは、基本的に全量とする。
- イ 夾雑物除去槽のスカム、汚水、堆積汚泥の引き出しは、基本的に全量とする。
- ウ 嫌気ろ床槽、第1室及び第2室の堆積汚泥、ろ床内汚泥の引き出しは、監督官の指示する量とする。
- エ 流入管等にあつては、付着物、沈殿物等を引き出し洗浄、清掃等を行う。
- オ 原水ポンプ槽及び汚水流入口、ばっ気型スクリーン等をブラシ等を用いて、水洗浄し、汚物は取り除くものとする。
- カ 攪拌装置及び原水ポンプの洗浄、清掃等を行う。
- キ 槽内の洗浄に使用した水は引き抜くこと。

(2) 清掃汚泥の処置

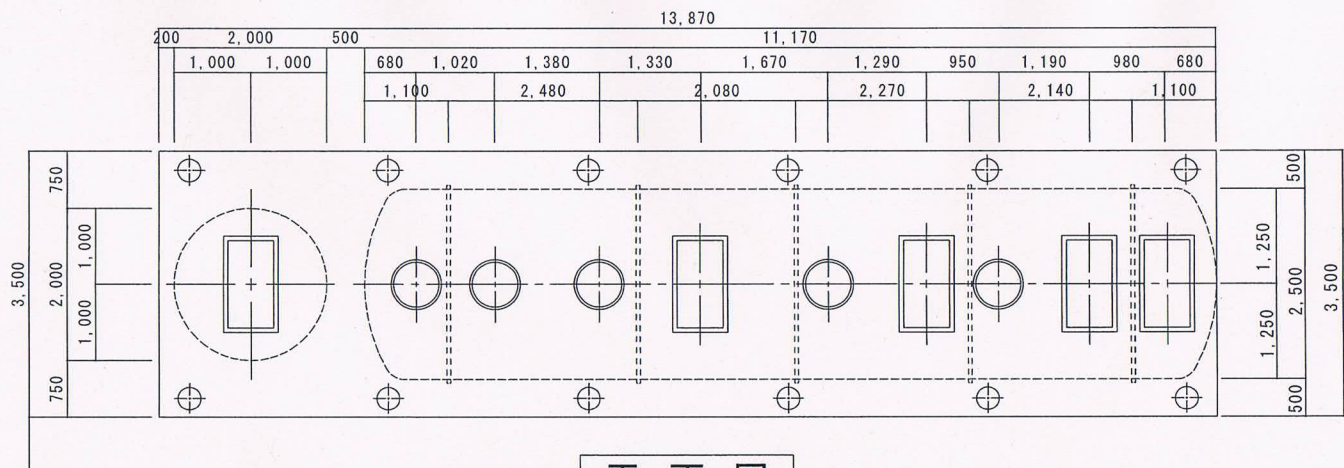
- 清掃汚泥（スカム等）は、分屯地構外へ搬出し、請負者側において、処分するものとする。
処分に際しては関係法令、規則及び条例に従い適切な方法で処分するものとする。

(3) 浄化槽の機能回復の確認

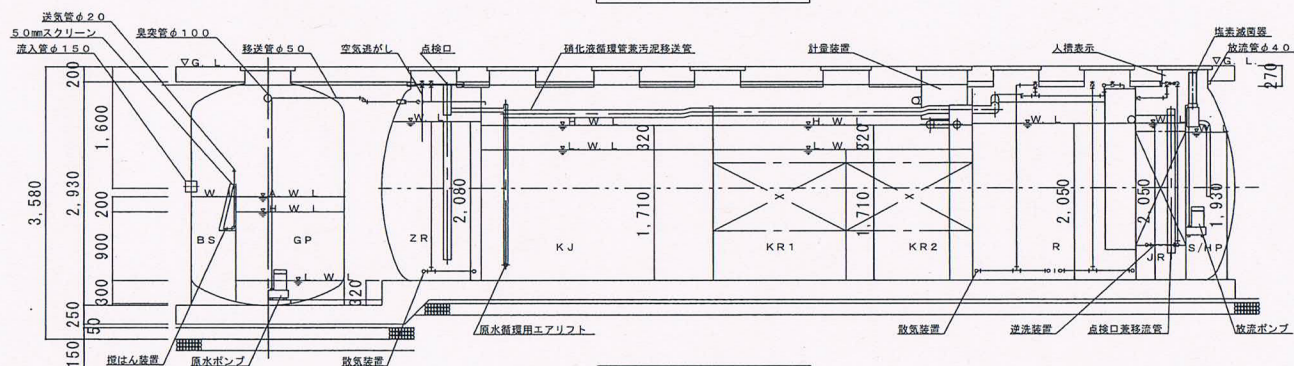
- ア 請負者は清掃完了後、検査機関等で放流水の水質検査を行い、その検査結果により機能回復がなされたことを確認して役務が完了したものとする。
- イ 前号の検査結果が水質基準に適合しない場合は、請負者の負担により、再度清掃及び水質検査を実施するものとする。



役務件名	浄化槽清掃役務				図番	1/2
図面種別	仕様書・案内図・配置図				縮尺	図示
支処長	総務科長	営繕班長	浄化槽管理士			設計
						
陸上自衛隊早来燃料支処総務科営繕班					令和8年8月3日	



平面図



断面図

仕様表	
処理方式	嫌気ろ床担体流動循環ろ過方式
形式名称	フジクリーンプラント PCNⅡ-99C型
処理対象人員	99人
計画汚水量	33m ³
流入BOD	200mg/L
放流BOD	20mg/L

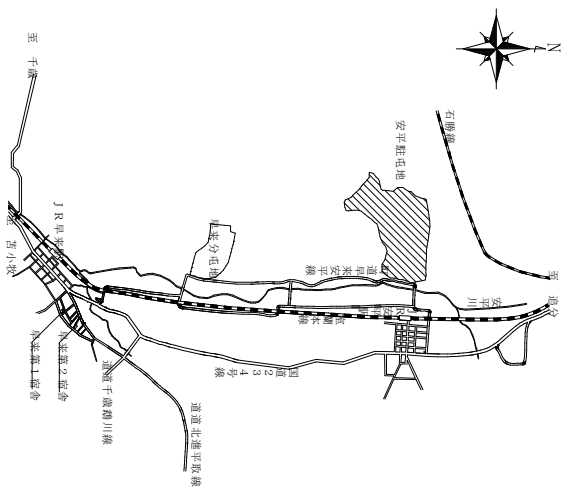
各槽容量		
記号	槽名称	実有効容量(m ³)
BS	ばっ気型スクリーン	0.65
GP	原水ポンプ槽	2.32
ZR	前置担体流動槽	4.85
KJ	夾雑物除去槽	12.81
KR1	嫌気ろ床槽第1室	7.40
KR2	嫌気ろ床槽第2室	6.97
R	担体流動槽	9.13
JR	循環ろ過槽	2.77
S/H P	消毒槽兼放流ポンプ槽	0.92/0.99

役務件名	浄化槽清掃役務	図番	2/2
図面種別	平面図・断面図・仕様表	縮尺	図示
陸上自衛隊早来燃料支処総務科営繕班		令和8年8月3日	

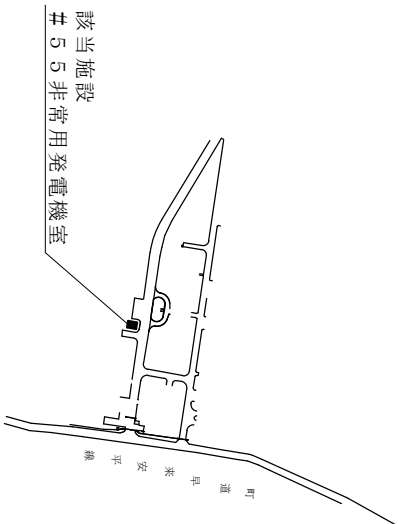
品 目 等 内 訳 書

[illegible]

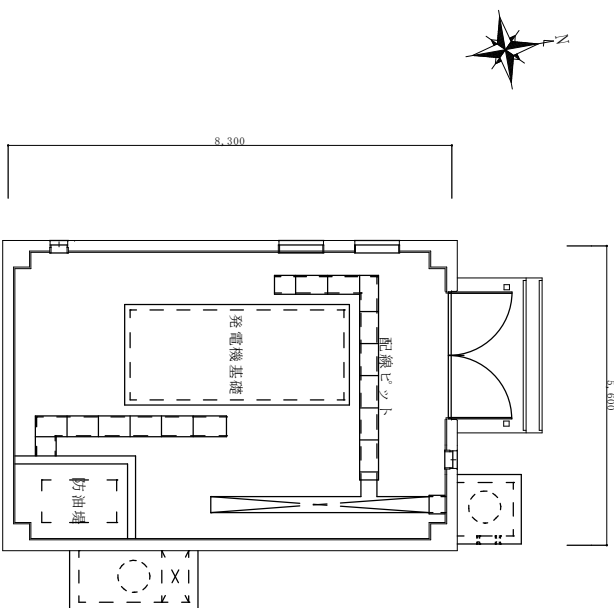
3 案内図・配置図・自家発電機室平面図



案内図 S=1/80,000



配置図 S=1/5,000



非常用発電機室平面図 S=1/100

名称	# 5 5 非常用電源設備保守点検役務	図面番号	全 2 葉 の内の 2
図面名称	案内図・配置図・平面図	図示	
陸上自衛隊安平補給支処総務科宮崎班 作成年月日 令和 年 月 日			

仕様書

- 1 役務名：＃５５非常用電源設備保守点検役務
- 2 役務場所：北海道勇払郡安平町安平 陸上自衛隊安平駐屯地
- 3 役務概要：自家発電設備機器のＡＶＲ特性試験及び保護運動試験含む１年点検

章	項目	内容
---	----	----

1	適用	本仕様書は、陸上自衛隊安平駐屯地において実施する「# 5 5 非常用電源設備保守点検役務」に適用する。								
2	定義	(1) 本役務は、本仕様書に基づくほか、関係法令、規則、条例を遵守するものとする。 (2) 本仕様書の内容に相違、または明記なきとき、あるいは不明な点が発生した場合は、監督官と調整しその指示に従う。但し、契約金額及び工期の変更については行わないものとする。								
3	提出書類	(1) 本役務着手に先立ち、関係書類（着手届、工程表）等を監督官に提出する。 (2) 書類の整理は契約業者の責任において監督官の指示通り遅滞なく行う。								
4	現場管理	(1) 役務現場は常に諸材料等の整理整頓その他清掃を行い、火災等の事故防止に努める。 (2) 出入口及び危険のある場所には、危険表示等の処置を行う。 (3) 役務現場及び許可された場所以外への無断立ち入り等は厳禁とする。 (4) 在米施設等の保護に十分注意を払うものとし、万一、不注意等により破損した場合は監督官と調整のうえ速やかに原型に復するものとする。 (5) その他部隊側の諸規則、指示に従い遅滞なく作業を行う。								
5	写真	役務写真の提出方法は下表のとおりとする。 <table><tr><th>分類</th><th>規格</th><th>撮影箇所</th><th>焼付部数</th></tr><tr><td>着事前 作業中 完了後</td><td>1 サービス判以上 2 デジタルカメラ撮影可</td><td>隠蔽となる箇所及び監督官の指示する場所</td><td>各 1 部</td></tr></table> ＊撮影後、役務写真帳（A－4 縦）に整理の上速やかに監督官に提出すること。 ＊撮影機器使用に際しサービス版で撮影した場合はネガを提出し、デジタルカメラで撮影の場合は監督官の指示がなければ、CD-R 等の可搬記憶媒体の提出は不用とする。 本役務に使用する消耗品、付属品等は、契約業者の方の負担とする。 本役務完了に際しては速やかに現場の清掃、後片付けを行う。 電気、水道は、請負業者の負担において準備する。 本役務完了後1ヶ月年における作業上の不備による損傷は、契約業者の負担として無償で修復しなければならない。	分類	規格	撮影箇所	焼付部数	着事前 作業中 完了後	1 サービス判以上 2 デジタルカメラ撮影可	隠蔽となる箇所及び監督官の指示する場所	各 1 部
分類	規格	撮影箇所	焼付部数							
着事前 作業中 完了後	1 サービス判以上 2 デジタルカメラ撮影可	隠蔽となる箇所及び監督官の指示する場所	各 1 部							
6	材料									
7	清掃・後片付け									
8	電気・水道									
9	保証									

1	実施要領	(1) 保守点検項目及び内容は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（２編－３章－４節自家発電設備 周期6 M・1 Y）」により実施すること。 (2) 本役務に際し、下記に示す資格を有し実務経験のあるもの ア 消防設備点検資格者 イ 自家用発電設備専門技術者 (3) 保守項目内の発電機制御盤類について、盤内機器点検内容に「静特性試験」「動特性試験」を追加し、ＡＶＲの波形の記録と共に調整を行うこと。 (4) 保守項目内の運転機能について、屋内キュービクルとの電源切替（商用－非常、非常－商用）の動作確認を行うこと。 (5) その他メーカーの推奨する保守項目に準じ適正に実施すること。 (6) 保守点検及び報告の様式 ア 非常用発電機 消防法第17条3の3（消防用設備等の点検及び報告）に基づき点検し、報告の様式については消防用設備等試験結果報告書の様式のうち「別記様式第2.4」にて報告すること。
---	------	--

章	項目	内容																																																
特記事項	2 点検対象物	イ 点検結果報告書 点検終了後、役務完了届と共に点検結果報告書を提出すること。 (7) 本役務に使用する試運転調整用の燃料は、官側にて支給するものとし、その他の潤滑油、冷却水類の不足分については契約業者にて補充すること。その際、メーカー推奨品を使用すること。 (8) 発生材について、金属くずは監督官の指示する場所へ集積し、その他の物は請負業者の責任において適正に処理すること。 (1) 非常用発電機 ア 交流発電機（明電舎） <table><tr><td>形式</td><td>E-AF 開放保護回転界磁突極形</td><td>周波数</td><td>50 H z</td></tr><tr><td>出力</td><td>375 K V A</td><td>電圧</td><td>6600 V</td></tr><tr><td>相数</td><td>3相</td><td>電流</td><td>32.8 A</td></tr><tr><td>極数</td><td>4</td><td>耐熱クラス</td><td>155 (F)</td></tr><tr><td>力率</td><td>80 %</td><td>励磁方式</td><td>自動ブラシレス方式</td></tr></table> イ デイジーゼルエンジン <table><tr><td>形式</td><td>ボルボ TAD1641GE</td><td>回転速度</td><td>1500 min⁻¹</td></tr><tr><td>名称</td><td>4470ℓ水冷直列直接噴射式</td><td>過給方式</td><td>過給機付</td></tr><tr><td>シリンダー数</td><td>6</td><td>始動電動機</td><td>DC24 V 7 K W</td></tr><tr><td>内径×行程</td><td>144×165</td><td>冷却水量</td><td>60 L</td></tr><tr><td>総排気量</td><td>16.12 L</td><td>潤滑油量</td><td>48 L + 10 L</td></tr><tr><td>出力</td><td>430 K W</td><td>使用燃料</td><td>軽油</td></tr></table> ウ その他 <table><tr><td>発電機盤</td><td>搭載型</td><td>蓄電池</td><td>DC24V MSE-150(2V×12)</td></tr></table>	形式	E-AF 開放保護回転界磁突極形	周波数	50 H z	出力	375 K V A	電圧	6600 V	相数	3相	電流	32.8 A	極数	4	耐熱クラス	155 (F)	力率	80 %	励磁方式	自動ブラシレス方式	形式	ボルボ TAD1641GE	回転速度	1500 min ⁻¹	名称	4470ℓ水冷直列直接噴射式	過給方式	過給機付	シリンダー数	6	始動電動機	DC24 V 7 K W	内径×行程	144×165	冷却水量	60 L	総排気量	16.12 L	潤滑油量	48 L + 10 L	出力	430 K W	使用燃料	軽油	発電機盤	搭載型	蓄電池	DC24V MSE-150(2V×12)
		形式	E-AF 開放保護回転界磁突極形	周波数	50 H z																																													
出力	375 K V A	電圧	6600 V																																															
相数	3相	電流	32.8 A																																															
極数	4	耐熱クラス	155 (F)																																															
力率	80 %	励磁方式	自動ブラシレス方式																																															
形式	ボルボ TAD1641GE	回転速度	1500 min ⁻¹																																															
名称	4470ℓ水冷直列直接噴射式	過給方式	過給機付																																															
シリンダー数	6	始動電動機	DC24 V 7 K W																																															
内径×行程	144×165	冷却水量	60 L																																															
総排気量	16.12 L	潤滑油量	48 L + 10 L																																															
出力	430 K W	使用燃料	軽油																																															
発電機盤	搭載型	蓄電池	DC24V MSE-150(2V×12)																																															
<table><tr><td colspan="2">仕様書No</td><td colspan="2">図面の集</td></tr><tr><td>名称</td><td>＃55非常用電源設備保守点検役務</td><td>図面番号</td><td>全2集 の内1</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="2">仕様書</td><td>図示</td></tr><tr><td>支処長</td><td>総務科長</td><td>営繕班長</td><td>電気係長 企画財政係長</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">陸上自衛隊安平駐屯地営繕科営繕班</td></tr><tr><td></td><td>作成年月日</td><td>令和</td><td>年月日</td></tr></table>			仕様書No		図面の集		名称	＃55非常用電源設備保守点検役務	図面番号	全2集 の内1	図面名称	仕様書		図示	支処長	総務科長	営繕班長	電気係長 企画財政係長					陸上自衛隊安平駐屯地営繕科営繕班					作成年月日	令和	年月日																				
仕様書No		図面の集																																																
名称	＃55非常用電源設備保守点検役務	図面番号	全2集 の内1																																															
図面名称	仕様書		図示																																															
支処長	総務科長	営繕班長	電気係長 企画財政係長																																															
陸上自衛隊安平駐屯地営繕科営繕班																																																		
	作成年月日	令和	年月日																																															